

# 研究成果情報

平成 30 年度

採卵鶏への省力的な飼料用米の給与方法		
[要約] 粳米の省力的給与方法として、採卵鶏に週2回粳米のみを給与する方法は、配合飼料のみを給与した場合の飼料採食量及び産卵成績を維持しながら、飼料費を低減できる。		
新潟県農業総合研究所畜産研究センター 生産・環境科	連絡先	TEL 0256-46-3103 FAX 0256-46-4865

## [背景・ねらい]

小規模平飼採卵鶏経営では、生産コストの低減に向け、飼料用米の利用を検討している。しかし、混合機等の機械整備に係る初期投資、混合作業への労力負担が利用の妨げとなっている。

そこで、飼料用米を混合せずに給与した場合の生産物、生産コストへの影響を明らかにし、有効な省力的給与方法を提案する。

## [内容]

- 1 丸粒粳米を混合せず週2回給与する方法は、配合飼料のみの給与区と比較して飼料採食量及び産卵成績に差はなく、粳米採食割合は冬季で 17%、夏季で 27%となる(表1、2)。
- 2 飼料費は、配合飼料のみ給与と比較して 18~21%の低減が期待される(表2)。
- 3 卵黄色は、明度の増加、赤色度の減少により、明るい黄色となる。また加熱(ゆで)卵黄ではリング状の模様が現れる(図)。

## [導入効果]

産卵成績を維持しながら、飼料コストの低減と省力化が図られる。

## [導入対象]

小規模平飼採卵鶏農家

## [留意点]

- 1 本成果は、冬季に横斑プリマスロック種及び名古屋種、夏季に名古屋種を用いて得られた結果である。
- 2 風乾物あたりの粗蛋白質含量は、配合飼料が 17.3~17.7%、粳米が 6.8~7.5%である。

[具体的データ]

	月	火	水	木	金	土	日
配合飼料							
粃米							

注) 飼料用米の給与割合を30%程度とするため、  
粃米の給与日数を2日に設定

図1 給与方法

表1 飼養成績

	冬季		夏季	
	配合飼料のみ給与	粃米週2回給与	配合飼料のみ給与	粃米週2回給与
飼料採食量(g/羽・日)	112	100	111	110
粃米割合(%)	—	17	—	27
産卵率(%)	76.4	68.6	52.1	45.0
平均卵重(g)	62.3	64.1	59.0	59.7
飼料要求率	2.37	2.23	3.29	3.39

表2 採卵鶏1日1羽あたりの飼料費

単位	冬季		夏季	
	配合飼料のみ給与	粃米週2回給与	配合飼料のみ給与	粃米週2回給与
飼料費 うち配合 (円)	7.8	5.8	7.8	7.6
うち飼料用米 (円)	0	0.4	0	0.8
合計 (円)	7.8	6.2	7.8	6.4
配合のみとの差額 (円)	—	1.6	—	1.4
低減割合 (%)	—	▲ 21	—	▲ 18

注 飼料費は、飼料採食量をもとに配合飼料70円/kg、粃米は25円/kgで算出



配合飼料のみ給与(生)

粃米週2回給与(生)

配合飼料のみ給与(加熱)

粃米週2回給与(加熱)

図2 夏季飼養試験における卵黄色(生)と加熱(ゆで)卵黄の断面

[その他]

研究課題名: 中小家畜と自給飼料の生産及び畜産環境に関する研究

予算区分: 県単経常

研究期間: 平成27~29年度

発表論文等: なし